

# JAICOH NEWS LETTER

No : 85 2024 年 11 月発行



特定非営利活動法人歯科保健医療国際協力協議会

Japan Association of International Cooperation for Oral Health

〒332-0016 埼玉県川口市幸町3丁目8-14

URL : <https://www.jaicoh.com/> Email : [jaicoh2023@gmail.com](mailto:jaicoh2023@gmail.com)

郵便振込：ゆうちょ銀行

名前:トクヒ)シカホケンイリョウコクサイキョウリョクキョウギカイ  
店名一四八 店番 148 普通預金 記号:11440 口座番号:04245821

発行：河村康二・白田千代子・深井穂博

## 2024 年 JAICOH 秋の研修会のお知らせ

**歯科保健医療国際協力協議会**  
2024 秋の研修会  
<https://www.jaicoh.com>

グローバルヘルスの現場から見たこと  
-口腔外科医からグローバルヘルス専門家へ、二つのキャリアを経験して-

講師：池田 憲昭 先生

登録フォーム  
<https://forms.gle/wereohAoGwFvhcA17>



2024 年 11 月 24 日 14 時～

会場：ワイム貸会議室 お茶の水 Room E

参加費  
会員：2000 円  
非会員：3000 円  
学生：無料

問い合わせ：  
[jaicoh2023@gmail.com](mailto:jaicoh2023@gmail.com)

ご講演いただく池田先生の書籍『グローバルヘルスの現場から見たこと -ハルマツタン風に選ばれて-』が 2023 年 9 月に口腔保健協会から出版されています。また医歯薬出版の歯界展望に『グローバルヘルスで出会った人たち』を連載中です。  
講演に参加する前に一読されると、今回の講演が一層盛りあるものになると思います。



- ・日 時：2024 年 11 月 24 日（日）14:00～17:00
- ・会 場：ワイム貸会議室お茶の水 ROOM E
- ・プログラム  
13:30 ～ 受付開始  
14:00 ～ 研修会  
“グローバルヘルスの現場から見たこと  
-口腔外科医からグローバルヘルス専門家へ、  
二つのキャリアを経験して-”  
17:00 ～ 懇親会
- ・会費：会員 2,000 円、非会員 3,000 円、学生無料
- ・参加登録：<https://forms.gle/wereohAoGwFvhcA17>

## ご挨拶

歯科保健医療国際協力協議会（JAICOH）は特定非営利活動法人（NPO 法人）として 2023 年 8 月 31 日に法務局からの認可を受け、1990 年より活動を継続してきました。

2024 年度に入り、4 月 7 日には第 1 回目の総会を開催し令和 5 年度の決算が承認されました。同日、春の研修会を開催しました。その内容は、久保田悠先生（神奈川県立保健福祉大学ヘルスイノベーション研究科）から「東南アジアでの口腔保健活動」について講演をしていただきました。

7 月 15 日には第 2 回目の総会を開催し会則により役員の変更を行い全員再任され、次に令和 7 年度予算案が原案通り承認されました。同日、第 34 回歯科保健医療国際協力協議会 JAICOH の学術集会が開催されました。始めに久保田歯科口腔外科医院院長・佐賀大学臨床教授 久保田英朗 先生が「歯科医ができる国際医療援助」の内容で講演され、続いてシンポジウム「我ら歯科医療者ができる国際協力とは？」をテーマに小川允知先生、有松ひとみ先生、朱薫子先生からのご講演をいただき、その後久保田先生も加わり小川祐司先生がリードする形でディスカッションを行い、今後、会員が国際歯科協力を行う上での活発な討論が行われました。その後懇親会を開催し終了致しました。

今後とも多くの国際協力を行う個人、団体にご参加いただき世界の発展途上国の歯科医療の向上を目指し、貢献したいと考えています。

各団体、会員の皆様、参加された多くの方々には今後とも協議会の活動にご理解をいただきよろしくご支援をお願い申し上げます。

非特定営利活動法人歯科保健医療国際協力協議会（JAICOH）  
Japan Association of International Cooperation for Oral Health  
河村康二，白田千代子，深井穂博

## 総会報告事項

### 《第一回総会報告》

令和6年度第1回総会は、2024年4月7日（日）、ワйм貸し会議室お茶の水で開催いたしました。

報告事項として、JAICOH ロゴマークについて村居正雄先生と著作権利用許諾証書を令和5年11月に取り交わしました。村居正雄先生（共著）の著作物「医療に恵まれないところでの歯科保健の手引き 改訂版」の著作権譲渡契約書を村居正雄先生と2024年2月に行い、口腔保健協会と令和6年2月に出版契約書を取り交わしました。

審議事項として、松原清吾先生御逝去された為、黒田耕平先生が新たに監事のご就任が承認されました。令和5年度の報告書が承認され、令和5年度の決算について承認されました。

### 《第二回総会報告》

令和6年度第2回総会は、2024年7月15日（日）ワйм貸し会議室お茶の水にて開催致しました。

報告事項として、報告書を埼玉県に提出した事及び報告書を印刷物として参加者に配布致しました。秋の研修会について、講師：池田憲昭先生、令和6年11月24日日曜日午後会場ワйм貸し会議室にて開催される旨報告されました。

審議事項として、定款により役員改選なので現役員が担う事で総会にて承認されました。

#### 《令和6年度役員》

代表理事 河村康二

副代表理事 白田千代子、深井穂博

理事 遠藤眞美、河村サユリ、根木規予子、内田千鶴、齋藤孝平、河野伸二郎

監事 黒田耕平

続いて、令和7年度の予算案が原案通りに総会にて承認されました。



河野伸二郎先生

河村康二先生



黒田耕平先生

## 2024 年度上半期（4～9 月）JAICOH 活動報告

### 《2023 年 JAICOH 春の研修会》

- ・ 日 時：2024 年 4 月 7 日（日）14:00～17:00
- ・ 会 場：ワイム貸会議室お茶の水 ROOM D
- ・ プログラム  
13:30 ～ 受付開始  
14:10 ～ 総会  
14:40 ～ 研修会  
“東南アジアでの口腔保健活動”  
神奈川県立保健福祉大学ヘルスイノベーション研究科  
久保田悠先生  
16:10 ～ 質疑応答  
17:00 ～ 懇親会
- ・ 会費：会員 1,000 円、非会員 2,000 円、学生無料

**歯科保健医療国際協力協議会**  
2024 JAICOH 総会&春研修会 

**東南アジアでの口腔保健活動**

講師：久保田 悠 先生  
神奈川県立保健福祉大学  
ヘルスイノベーション研究科

日時：2024年4月7日  
13:30 ～ 開場  
14:10 ～ 総会  
14:40 ～ 研修会  
16:10 ～ 質疑応答  
17:00 ～ 懇親会

会費：  
会員 1,000円  
非会員 2,000円  
学生 無料

参加登録フォーム：  
<https://forms.gle/huZ31eDrHrfR5DtK8>

会場：ワイム貸会議室  
お茶の水 ROOM D  
千代田区神田駿河台2-1-20  
お茶の水ユニオンビル4F

問合せ：  
歯科保健医療国際協力協議会  
jaicoh2023@gmail.com

（今後の予定）  
第34回歯科保健医療国際協力協議会総会・学術集会：2024年7月15日  
詳細については、今後、HP（<https://www.jaicoh.com/>）に掲載します。



- ・ 参加者からのメッセージ  
2024 年 JAICOH 春の研修会に参加して

日本大学松戸歯学部障害者歯科学講座 地主知世

2024 年 4 月 7 日（日）、NPO 法人歯科保健医療国際協力協議会（JAICOH）主催による春の研修会が開催され、講師の久保田悠先生（神奈川県立保健福祉大学ヘルスイノベーション研究科）より「東南アジアでの口腔保健活動」についてお話を伺うことができました。

久保田先生からは最初に、東南アジア諸国における歯科医療に関する教育はまだまだ発展途上であることを教えていただきました。シンガポールやラオス、ミャンマーは歯科教育機関が国内に1～2校しかないこと、久保田先生が主に活動されているカンボジアには歯科大学は5校あるものの、教科書はカンボジア語に訳されていないことが多いため、学生は母国語ではなく英語での学習を余儀なくされているとのことでした。また、高層ビルが建ち並ぶ脇にスラム街があったり、インフラが普及していないために医療機関が偏在していること、安価の食品には糖を含むものが多く早期乳歯う蝕が多いことなど、カンボジアの現状についてのお話がありました。また、カンボジアで実際に使用されている母子手帳を持ってきてくださり、拝見することができました。妊娠が明らかになると保健センターでもらうことができるそうで、手帳の中には離乳食のすすめ方や口腔衛生に関する内容も書かれていました。母子手帳があるおかげで、子どもの数や発育状況の把握には困らないそうですが、出稼ぎのため教育を受ける機会が絶たれ母親たちの識字率が低いため、母子手帳に書かれている内容を把握できる母親が少ないのが現状だそうです。その一方で、タイでは歯科大学が12校存在し、中には日本の東大レベルの大学が存在したり、富裕層をターゲットとしたメディカルツーリズムが自国産業のひとつになっているとのことでし

た。このように国や地域による格差が拡大していることが今の国際社会の問題であると久保田先生は提起されていました。

数多くの先人たちが築き上げてきた日本の歯科医療技術や教育は世界に誇るべきものと考えます。国際社会の格差問題は簡単に解決できる問題ではありません。しかし、日本の歯科医療者として、国際社会でそれぞれの立場でリーダーシップを発揮し、人々の健康に寄与できることがまだまだたくさんあるのではないかと、講演後の参加者の皆さんの熱いディスカッションを通して強く感じた研修会となりました。今日より明日、少しでも世界に笑顔が増えていることを願って。



## 《2024年 第34回歯科保健医療国際協力協議会総会・学術集会》

2024年7月15日 お茶の水ワイム貸し会議室

12:30～ 総会

13:00～ 開会挨拶

13:10～ 特別講演

「歯科医ができる国際医療援助」

久保田歯科口腔外科医院院長・佐賀大学臨床教授

久保田 英朗 先生

14:20～ シンポジウム

《我ら歯科医療者ができる国際協力とは?》

- ・「グローバルオーラルヘルスプロモーションにおいて日本のオーラルヘルスプロフェッショナルに求められるもの」

新潟大学大学院口腔健康科学講座教授/

WHO協力センター 小川 祐司先生

- ・「パラオ共和国での医療活動の”これから”を考える」  
NGO パンジープロジェクト 小川 允知 先生
- ・「ベトナムでの歯科保健活動－歯科衛生士は海をわたる－」  
一般社団法人大分県歯科衛生士会 有松 ひとみ先生
- ・「歯科医療×公衆衛生」  
落合小児歯科 朱 薫子 先生

16:00～ ディスカッション

16:50～ 閉会挨拶

17:15～ 懇親会

・ 演者抄録

抄録集の全ページは HP (<https://www.jaicoh.com>) からご覧いただけます。

詳しくは HP をご覧ください。

**JAICOH 歯科保健医療国際協力協議会**  
**2024.7.15**  
**第34回総会・学術集会**  
**我ら、歯科医療者ができる国際協力**

日時 2024年7月15日  
 12:30～17:00  
 受付開始 12:00  
 懇親会 17:15  
 参加費 一般:5000円  
 学生:無料  
 (懇親会費:別途)  
 問い合わせ・連絡先  
 歯科保健医療国際協力協議会  
 jaicoh2023@gmail.com  
 ホームページ  
 https://www.jaicoh.com/  
 会場:ワイム貸し会議室 お茶の水  
 ROOM B

プログラム:  
 12:30 総会  
 13:00 開会挨拶  
 13:10 特別講演 『歯科医ができる国際医療援助』  
 久保田歯科口腔外科医院院長・佐賀大学臨床教授  
 久保田 英朗 先生  
 14:20 シンポジウム  
 『我ら歯科医療者ができる国際協力とは?』  
 ・新潟大学大学院口腔健康科学講座教授  
 小川 祐司 先生  
 ・NGO パンジープロジェクト  
 小川 允知 先生  
 ・一般社団法人大分県歯科衛生士会  
 有松 ひとみ先生  
 ・落合小児歯科  
 朱 薫子 先生  
 16:00 ディスカッション  
 16:50 閉会挨拶

登録フォーム:  
<https://forms.gle/pEzTbjVHUTLGEcaC8>

ワイム貸し会議室お茶の水  
 3F中央部・知覚部(東京ノ水)部  
 東京ノ水部(地味部)  
 東京メトロ丸ノ内線「新茶ノ水」駅  
 2番出口徒歩3分  
 東京メトロ有楽町線「新茶ノ水」駅  
 日1番出口徒歩4分

☆特別講演

歯科医ができる国際医療援助

久保田英朗



私は、横須賀ロータリークラブの会員ですが、2014年から2023年に至る10年間で3回にわたり国際ロータリー財団から補助金をいただき口唇口蓋裂児の国際医療援助活動を行ってきました。そのきっかけは、私が所属していた大学のNPO法人神奈川歯科大学南東アジア支援団の一員として、フィリピン国セブ市の貧困層の子供たちの歯科検診ならびに歯科医療活動に参加した時、学童の約1%に口唇口蓋裂児が認められ、約0.2%といわれるアジア人の発生率に比べフィリピンでは多いことに気づいたからでした。

その理由として、日本では国民皆保険制度が整備され、低年齢の時期に口唇口蓋裂児は無償で手術を受けられますが、フィリピン国の貧困層では家族の年収をはるかに上回る治療費を支払うことができないこと、口唇口蓋裂の慈善治療を担当する医師、歯科医師が少ないこと、疾病に対する母子保健指導が徹底されていないことなどが挙げられます。そこで、フィリピン国の貧困層の口唇口蓋裂児に対し、慈善医療活動を行うとともに、現地医療スタッフに口唇口蓋裂医療の技術移転と教育を行い、現地の医療人による治療の確立を目指してこの10年間の活動を行ってきました。

フィリピン国では、ROTAPLAST、OPERATION RESTORE HOPE、OPERATION SMILE など米国を主とする慈善団体が口唇口蓋裂患者の慈善医療活動を行っていますが、現地で手術だけを行い、術後の患者のフォローアップや現地医療関係者への技術移転などは行っていません。セブ市の人口は約200万人で、学童中の口唇口蓋裂発生率をアジア人の平均である0.2%とすると毎年4000名の患者が治療を必要とすることになります。口唇口蓋裂児の慈善医療活動を外国の団体が行って、患者数に対し治療のキャパシティが追いついていないのが現状です。

私どもは、最初セブ島の西方にあるネグロス島ドマゲッティ市の南ドマゲッティRCと協力し、現地のHoly Child病院の歯科医師であるPatrick氏、看護師、言語聴覚士を日本に招聘し、口唇口蓋裂術後の言語治療について研修を行いました。また、2016年には南ドマゲッティRCより会員数も多く、数多くの奉仕活動

3

を手掛けているセブRCと協力して、セブ市のADVENTISTS'病院で活動を行いました。セブRCは、病院への患児の受け入れ(家族への連絡、病室の確保、入院食の提供)を現地NPO法人であるAbounding in Loveやロータリーアクトと共に支援し、派遣チーム活動中の諸事の面倒をみてくれました。このようにフィリピンの良きパートナーに恵まれ2019年からの3年間に渡る活動で、セブ市に口唇口蓋裂術後の患者ケアを行う医療拠点(口唇口蓋裂センター)を設立することができました。

これには、当初からからずと一緒活動を支援し続けてくれたPatrick氏、河野伸二郎氏、佐賀大学香月武教授の協力なくしては考えられません。さらに私の友人でマニラのDe Los Santos Medical Centerの口腔外科医であるMario Esquillo教授とそのレジデント達、日本の歯科大学を定年退官した覚道健治、内山健志、栗田賢一教授たちの協力もあって、技術移転をスムーズに行うことができました。

海外医療援助活動を行うにあたっては、援助対象国のパートナーの協力が大切で、現地のニーズを把握して継続性を持って活動を行うことが重要だと思います。私は若年波に勝てず、昨年末右眼の白内障手術を受けましたが、現在は視力が回復し、体が健康な限りもう少しこの活動が続けたいと思っています。今回の講演では私たちが行っている援助活動の一端をお示し、皆様のご批評を仰ぎたいと思います。

略歴

- 1978年3月 神奈川歯科大学 卒業
- 1978年4月 慶応義塾大学医学部付属病院歯科口腔外科研修医
- 1984年3月 慶応義塾大学大学院医学研究科博士課程修了
- 1984年4月 慶応義塾大学医学部微生物学教室助手
- 1984年9月 米国カルフォルニア大学サンディエゴ校留学
- 1986年9月 佐賀医科大学付属病院歯科口腔外科医員
- 1987年4月 佐賀医科大学歯科口腔科学第2講座教授
- 1995年10月 神奈川歯科大学口腔科学第2講座教授
- 1995年11月 神奈川歯科大学大学院教授兼任
- 2005年4月 神奈川歯科大学教部部長
- 2007年5月 学校法人神奈川歯科大学評議員
- 2008年4月 神奈川歯科大学学長、高次口腔科学研究所所長、学校法人神奈川歯科大学理事長
- 2009年7月 神奈川歯科大学理事長
- 2015年3月 神奈川歯科大学退職 久保田歯科口腔外科医院 院長

4

☆シンポジウム

『我ら歯科医療者ができる国際協力とは?』

グローバルオーラルヘルスプロモーションにおいて日本のオーラルヘルスプロフェッショナルに求められるもの

新潟大学大学院 歯学総合研究科予防歯科学分野 WHO 協力センター 小川祐司



ユニバーサルヘルスカバレッジ(UHC)達成のためにオーラルヘルスは不可欠のインシアチブのもと、プライマリーヘルスクアにオーラルヘルスを統合させる戦略が進められている。そこで、このプレゼンテーションでは、これからのオーラルヘルスプロモーションの方向性を検証しながら、日本のオーラルヘルスプロフェッショナルがグローバルな視点でどのような役割と期待があるのか考察を試みる。

略歴

- 1994年 日本大学松戸歯学部 卒業
- 1996年 シドニー大学大学院歯学研究科 修士課程修了
- 2001年 新潟大学大学院歯学総合研究科 博士課程修了
- 2001年 新潟大学大学院歯学総合研究科 准教授
- 2014年 WHO 世界保健機関 国際口腔保健部 統括歯科医官
- 2018年 新潟大学大学院歯学総合研究科予防歯科学 教授
- WHO 世界保健機関協力センター長(新潟大学)
- 2023年 新潟大学歯学部副学部長

その他

- 日本歯科医師会 国際渉外委員会委員
- 日本口腔衛生学会 理事、国際交流委員会委員長
- FDI(世界歯科連盟) 理事

5

パラオ共和国での医療活動の"これから"を考える

NGO パンジープロジェクト 小川允知



2017年に初めてパラオ共和国を訪れ、パラオという国に魅せられた私は、2019年に大学の同期と一緒に、パラオの病院歯科での医療支援活動を開始しました。当時、臨床医として14年目。ボランティア活動すら経験したことがなかった私たちにとって、海外での活動は大きな経験となりました。現在も、年に1~2回の活動を続けておりますが、活動のたびに大きな「学び」を得ることができております。海外での医療支援の現場に、医療従事者の「学びの場」としての可能性を感じています。

その後、活動を続ける中で『目先の支援では、パラオは変わらない』ということに気が付きました。そこで、私たちは中長期での計画を立てました。これまでの活動と並行して、中期でのフッ素洗口による「う蝕予防プログラム」を行うこと。そして、長期での「医療教育機関の設立」を目標に掲げ活動を模索しています。

活動歴も浅く、まだまだこれからの組織ですが、皆さまの深い経験と豊富な知識に胸を借りるつもりで発表をさせていただきます。

ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願いいたします。

略歴

- 2005年 九州歯科大学卒業
- 福岡県内の歯科医院に勤務
- 2011年 小川歯科医院を継承(福岡市東区)
- 2019年 NGO パンジープロジェクトを設立

その他

- 2015年 "骨髄下欠損を伴う歯周病症例への対応"(日本歯科評論 Vol.75 2015-3)
- 2018年 Europerio9 ポスター発表 "Moderate chronic periodontitis treatment without periodontal surgery.3 years follow up of the 8mm pocket."
- 2020年 日本歯周病学会認定医取得
- 2021年 "歯科臨床の知恵と技 結果にこだわる!「下川臨床」テクニックあの手この手"への寄稿(医歯薬出版 2021-3)
- 2022年 "禁煙指導後に歯周組織再生療法を行った1症例"日本臨床歯周病学会誌 JJACP Vol.40 No.1/2022

6

### ベトナムでの歯科保健活動 — 歯科衛生士は海をわたる —

一般社団法人 大分県歯科衛生士会  
有松ひとみ



2004年からベトナム社会主義共和国で、ストリートチルドレンや施設等の子ども達を中心とした歯科ボランティア活動を継続してきました。コロナ禍で中断されたものの、2022年からは、JICA(独立行政法人国際協力機構)草の根技術協力支援事業に歯科衛生士として参加しています。この事業は、「運動」「栄養」「口腔」を三位一体で行っている日本式介護予防を、高齢化対策プロジェクトとして普及展開することを目的とし、保健省と協働しながら、首都ハノイ市を含めた周辺地域で実践しているものです。

この事業背景には、日本と同じく急速にすすむ高齢者問題があります。歯と口の健康が全身疾患やフレイルに影響を与えるエビデンスが蓄積されてきた今、『予防』を専門とする歯科職へのニーズは高いにも関わらず、ベトナム国はじめ多くの東南アジア諸国には、体制が整っていない実情があります。異国での活動を通じてみえてきたミッションを、参加者の皆様と一緒に考え共有できれば幸いです。

#### 学歴

1980年 九州歯科大学附属歯科衛生学院 卒業  
2006年 立命館アジア太平洋大学国際マネジメント科 卒業

#### 職歴

1980年 北九州市内小児歯科・矯正歯科医院 勤務  
1985年 九州歯科大学附属歯科衛生学院 専任講師  
2009年 大分県別府市内病院 リハビリテーション部所属勤務  
2022年 JICA 草の根技術協力事業ベトナム派遣員

#### 表彰

2017年 IFDH 国際歯科衛生士連盟 Social Responsibility award 第3位受賞  
2022年 大分県知事功労賞

#### 書籍

「歯科保健指導教本」医歯薬出版(1988年版)  
「歯科衛生士のための地域ケア会議マニュアル」医歯薬出版(2017年版)

7

### 「歯科医療×公衆衛生」

落合小児歯科  
朱 薫子



私が公衆衛生に関心をもったのは、亀田総合病院に臨床研修医として就職した際のことでした。総合病院の歯科には、基礎疾患をもつ患者や入院患者が多く来院し、医科歯科連携も盛んな一方、歯科は受け身になってしまうことが多く、歯科側から何かアプローチができないかと考えていました。研修医二年目に、医科ローテーションの一部を経験させていただき、医科歯科の知識の交換や人的交流を経て、医科歯科の学問上の線引きを超えた健康への幅広い理解を深めたいという思いが高まり、公衆衛生を学ぶことを決意しました。

そして2021年からフランスの EHESP(公衆衛生学院)の修士課程に留学しました。在学中は、様々な国籍の学生たちと、あらゆる公衆衛生の課題について問題解決、議論の方法を学び、OECDのインターンシップでは、OECDの年次報告書の執筆に関わりました。歯科の現場から離れ、さまざまなバックグラウンドを持つ人々と健康問題を考えた2年間、健康に対する意識は大きく変わりました。それは、臨床の現場でひとりひとりの患者に向き合っていた視点とは異なる、個人の健康を守る社会を俯瞰する視点を身に着けたことです。

日本に戻ってきた今、改めて自分ができることは何か、問い直しています。Oral Health を通じて、健康格差の解消、健康増進に貢献できる人材になることを目標にし、キャリアを模索しております。

#### 略歴

2017年 日本歯科大学卒業  
2018年 亀田総合病院臨床研修医  
2021年 EHESP修士課程入学  
2023年 EHESP卒業  
2024年～今に至る

8

## ・参加者からのメッセージ

### 第34回歯科保健医療国際協力協議会「学術集会」の感想

#### NGO パンジープロジェクト 小川允知

2024年7月15日(祝)、東京都御茶ノ水の会議室にて開催された学術集会に参加させていただきました。・本会では、海外医療ボランティア活動を行っている歯科医師・歯科衛生士の講師から、海外での医療活動に関する講演や、それぞれの活動報告を拝聴することができました。

特別講演の講師である久保田英朗先生は、これまで発展途上国において口唇口蓋裂患者の手術を行ってこられました。さらに、現地の医療人の育成を同時に行うことで、ボランティア支援が不要となる未来を築く必要性を強調されました。目先の成果ではなく、長期的に活動の成果を捉えることの大切さを改めて感じました。

その後、シンポジストに小川祐司先生を迎え、シンポジウムが開催されました。有松ひとみ氏(大分県歯科衛生士会)は、ベトナムでの活動について報告され、口腔衛生だけでなく栄養管理や喫煙に関する啓蒙活動を行ってきた経験を共有されました。近年では、介護予防にも取り組まれているとのことで、大変興味を引かれました。また、朱薫子先生(落合小児歯科)は、大学卒業後にフランスの公衆衛生学院へ留学した経験を報告され、今後も公衆衛生のキャリアを積んでいく予定であると語られました。今後、そういった面での活躍が期待されますので、また未来の学術集会にて報告をしていただければと思います。

最後に、シンポジウムの総括として、小川祐司先生より「グローバルオーラルヘルスプロモーション」についての講演が行われました。この中では、オーラルヘルスプロモーションをどのように推進していくべきかについて、会員と概念が共有されました。自分の知識の不足している部分を補うことができ、今後の活動につながる貴重な学びを得ることができました。

このシンポジウムでは、私にもお話しする時間を設けていただき、大変感謝しております。集会終了後、多くのアドバイスをいただくことができ、充実した時間を過ごせました。誠にありがとうございました。

また、ぜひとも学術集会に参加させていただきたいと思います。その日を楽しみに、パラオでの活動を進めてまいります。今後ともご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

### ・当日の様子



挨拶 河村 康二先生      特別講演 久保田英朗先生      谷口健太郎先生      葛生 悠貴先生



シンポジスト 小川 允知先生

シンポジスト 有松ひとみ先生



シンポジスト 朱 薫子 先生



シンポジスト・座長 小川 祐司先生



ディスカッション時の様子  
深井 穂博先生

久保田 英朗先生

中村 文子先生



## 今後の予定

来年度の予定については以下の通りです。

- ・春の研修会 2025年5月11日(日)
- ・総会・学術集会 2025年7月13日(日)

詳細については、決定次第、登録メール配信およびホームページ (<https://www.jaicoh.com>)  
でご報告してまいります。

## ホームページをぜひ、ご覧ください！！

ホームページ (<https://www.jaicoh.com>) は、過去の JAICOH の活動などもご参考していただけるように誰もがダウンロードできる JAICOH レターのページ等も設置しています。ぜひとも、ご活用ください。



## 会費登録および年会費納入のお願い

会員継続および新入会につきましては、改めて会員情報の登録・更新をさせていただきたく、会員登録入力フォーム (<https://forms.gle/d9xzxEW8dpDVzqgN6>) へのご記入をよろしくお願い申し上げます。ホームページからも登録できます。

登録後、2024年度の年会費(4月～3月)は4月以降に納入をお願いいたします。

### <会費>

- ・入会金 なし
- ・年会費 賛助会員：10,000円、正会員：5,000円、  
学生会員：無料



**<ゆうちょ銀行から窓口で(現金又は口座から)振り込む場合>**

『電信払込み請求書・電信振替請求書』を用いてお振り込みください。

【記号】 11440

【番号】 04245821

【名前】 特定非営利活動法人歯科医療国際協力協議会

【フリガナ】 トクヒシカホケンイリョウコクサイキョウリョクキョウギカイ

※口座からお振り込みの場合は通帳とお届け印が必要となります。

**<ゆうちょ銀行から ATM で振り込む場合>**

【振込先】 ゆうちょ銀行

【記号】 11440

【番号】 04245821

【名前】 トクヒシカホケンイリョウコクサイキョウリョクキョウギカイ

**<他金融機関から振り込む場合>**

【店名】 一四八 (読み イチヨンハチ)

【店番】 148

【預金種目】 普通預金

【口座番号】 0424582

【振込先】 ゆうちょ銀行

**編集後記**

2024年7月、NPO法人化後初めての総会・学術集会は大盛会で終了し、はやいもので秋の研修会の11月になってしまいました。秋の研修会については次回のレターで報告となりますが、学生、研修医、地域歯科診療所、行政、教育機関の歯科医療者、国際協力活動を長年にわたり続けている歯科医療者、メディアなどのご参加申し込みを頂戴しています。これは、NPO法人になって1年が経過し、ちょうど世界がポストコロナということで“何か、国際協力を”と考えたときに、当協議会の本来の活動を思い出していただけたおかげだと考えています。最近、当協議会を通して仲間が増え、活動の幅が広がったというご連絡をいただいた方もいらっしゃいます。これからも、国際協力や公衆衛生活動にご興味のある皆様と情報交換ができる場として、情報発信を続ける重要性を改めて感じております。充実したHPやニュースレターを目指したいと思っておりますので、何かご意見がありましたら、事務局までご連絡を頂戴できれば幸いです。遠藤真美

**歯科保健国際協力協議会(JAICOH)**

発行日:2024年11月21日

発行者: 歯科保健医療国際協力協議会(JAICOH)

連絡先: jaicoh2023@gmail.com

HP: <https://www.jaicoh.com/>

無断転載・複製・複写を禁じます。